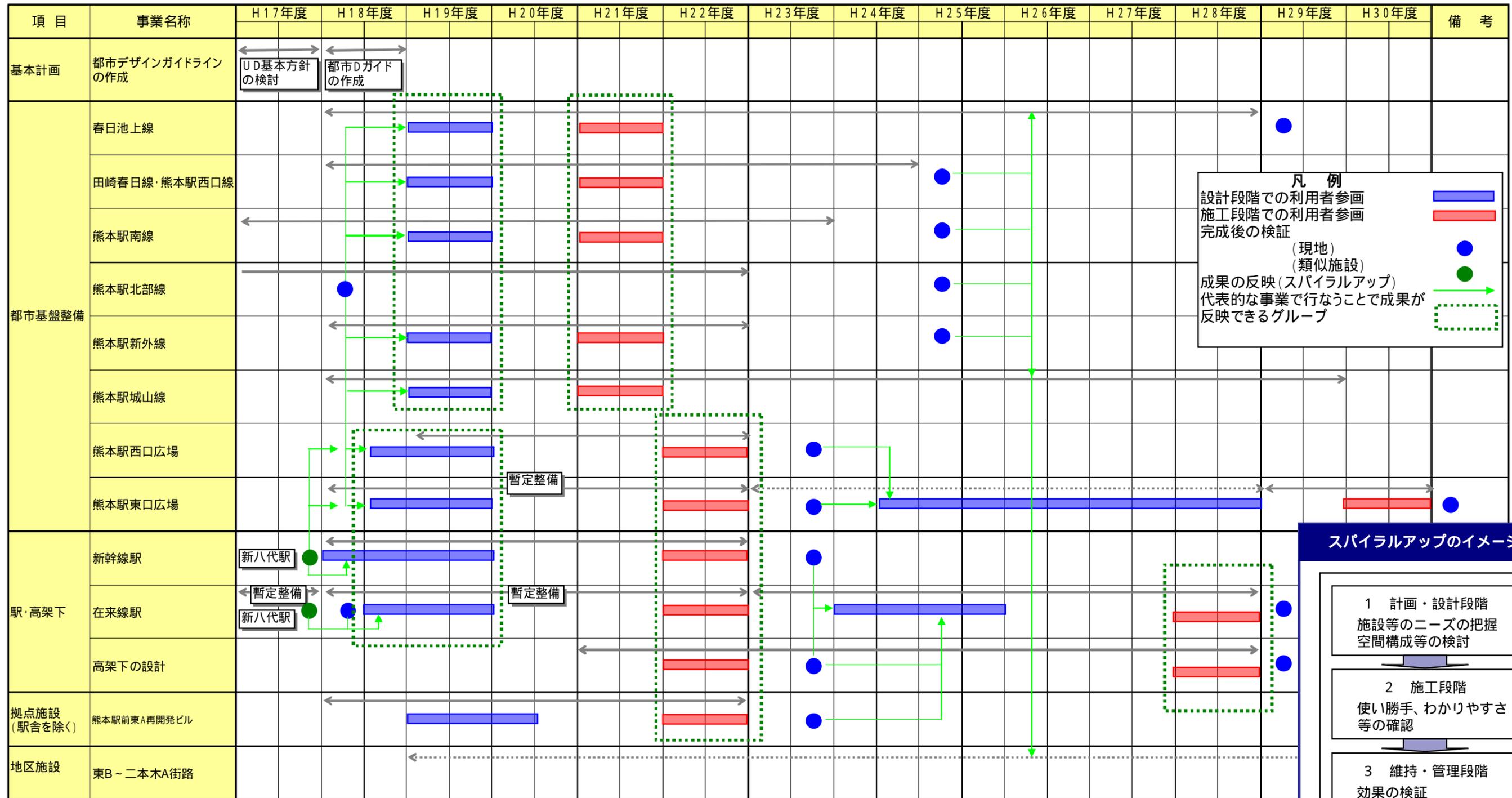

ユニバーサルデザインについて

【目次】

1 . 熊本駅周辺地域の関連事業とUDの取り組み(案)	1
2 . 熊本駅周辺地域UDプレワークショップ in 新八代駅 ~ 先進事例駅で今後の熊本駅周辺整備を考える ~	2
3 . ワークショップ検討結果を踏まえた配慮事項一覧	7

1. 熊本駅周辺地域の関連事業とUDの取り組み(案)

ユニバーサルデザインについて



全体の流れのイメージであり、事業の進捗状況によって、ワークショップの時期などは変更あり。

(1) ワークショップの概要

1) 概要

【目的】 ○先進事例である新八代駅においてワークショップをすることで、今後取り組むべき熊本駅周辺地域UDの利用者ニーズを抽出する。

○計画当初からの利用者参画の機会を設定する。

【日時】 平成18年2月17日(金)

【場所】 新八代駅

【オブザーバー】 JR九州、鉄道・運輸機構

【参加者】 聴覚障害者、視覚障害者、車いす使用者、高齢者、親子連れ等の点検の対象者、県市職員

2) スケジュール

12:55	新八代駅集合
13:00~13:10	開会・あいさつ
13:10~13:20	グループ打合せ
13:20~14:30	現地評価
14:30~15:00	(八代地域振興局にタクシー等で移動、休憩)
15:00~16:10	グループ内意見交換
16:10~16:40	グループ発表
16:40~16:50	総評(川内先生、原田先生、田中先生)

3) 進め方

【グループ構成】

- ① 3グループに分ける(出発客の立場、到着客の立場、乗り継ぎ客の立場)。
- ② 各グループに、身障者、高齢者、親子連れ等が参加し、WGメンバーが、リーダー、サブリーダー、サポーターを務める。
- ③ リーダーは、現地評価におけるタイムキーパーと安全の確保、グループ意見交換の司会進行及びグループ発表をおこなう。
- ④ サブリーダーは、現地点検では、サポーターの一人として行動する。グループ意見交換では、パソコン操作、データの管理を行う。
- ⑤ サポーターは、身障者等のサポートをして、評価用紙の記入、カメラ撮影をおこなう。

【現地評価】

- ① 現地評価は、グループごとに以下の目的の評価をおこなう。Aグループ：出発客の立場、Bグループ：到着客の立場、Cグループ：乗り継ぎ客の立場
- ② 現地評価は、評価シート(平面図)を用い、それぞれの立場(聴覚障害者、視覚障害者、車いす利用者、高齢者、親子連れ等)で評価する。

【評価点検の記入方法・評価の姿勢等】

- ① 評価は、エレベーター、エスカレーター、トイレ、待合室などの場所ごとに評価する。
- ② 評価は、「わかりやすさ」、「利用しやすさ(使いやすさ)」、「心地よさ(美しさ)」の観点から評価する。
- ③ 評価には、悪いと思った点だけでなく、良かった点についても記入する。

【グループでの意見交換】

- ① 現地評価で気付いた点のある箇所に建物平面図(A0)サイズの該当部分にカラーシールを貼り、評価内容を記入した付箋と引き出し線で結ぶ等の関連付けをおこなう。
- ② サブリーダーは、現地評価の際に撮影した写真データを各グループのパソコンに保存する。
- ③ パソコン上で、撮影した写真を見ながら、現地評価の際に気がついた良い点・悪い点について意見交換をする。意見交換の中で新たに気付いた点についても、①と同様にカラーシールと付箋を建物平面図に貼り付ける。
- ④ 特に悪い点については、今後、熊本駅整備にあたって考慮すべき改善策について意見交換をおこない、改善策を記入した緑色付箋を赤色付箋などに関連付けて貼る。

【グループ発表】

- ① 発表班の建物平面図(シール、付箋添付済み)をホワイトボードに貼る。
- ② 発表者は、正面のスクリーン(写真)、建物平面図を利用しながら、要点を整理して発表する。
- ③ 発表時間5分。質疑応答5分。
- ④ パソコンの操作は、サブリーダーが行う。